

The background image shows a lush green orchard with many red apples hanging from the trees. In the distance, a large, brown, conical mountain is visible under a clear blue sky with a few small white clouds. A semi-transparent grey banner is overlaid across the middle of the image, containing the title text in white.

援農・副業による りんご産業の活性化



あおもり ひろさき
青森県弘前市

自己紹介

弘前市

農林部農政課長

しぶたに あきのぶ
澁谷 明伸

一生まれも育ちも弘前市

実績

ー20年間の財務・企画部門を経て、りんご課長

ーりんご課では、『りんご娘』とともに全国でりんごのセールス

ー市職員のりんご生産アルバイト制度 立ち上げ

現在

ー担い手確保、援農、農福連携など幅広く奮闘する中、
援農や農福の取組において、下記3賞を受賞。

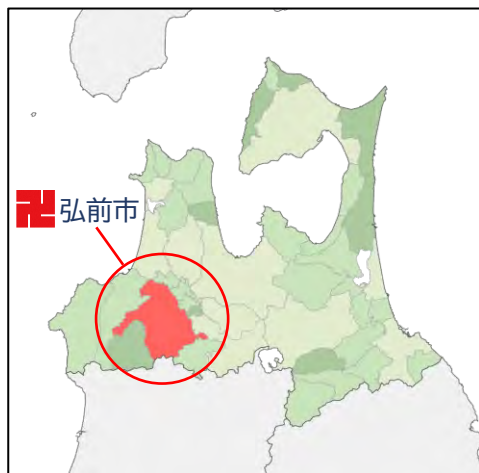
①地方創生応援税制に係る大臣表彰

②ディスカバー農山漁村の宝優秀賞

③ノウフクアワード2024優秀賞



弘前市とは



- 人口約16万人の県内3番目の都市
- 明治22年4月、全国30市とともに市制を施行
- 弘前城、神社仏閣、洋風建築物、前川國男の建物など歴史的建造物にあふれる文化都市
- 県内唯一の国立大学法人弘前大学などがある学園都市
- 四大まつりを中心とした観光都市



さくらまつり



ねぷたまつり



菊と紅葉まつり



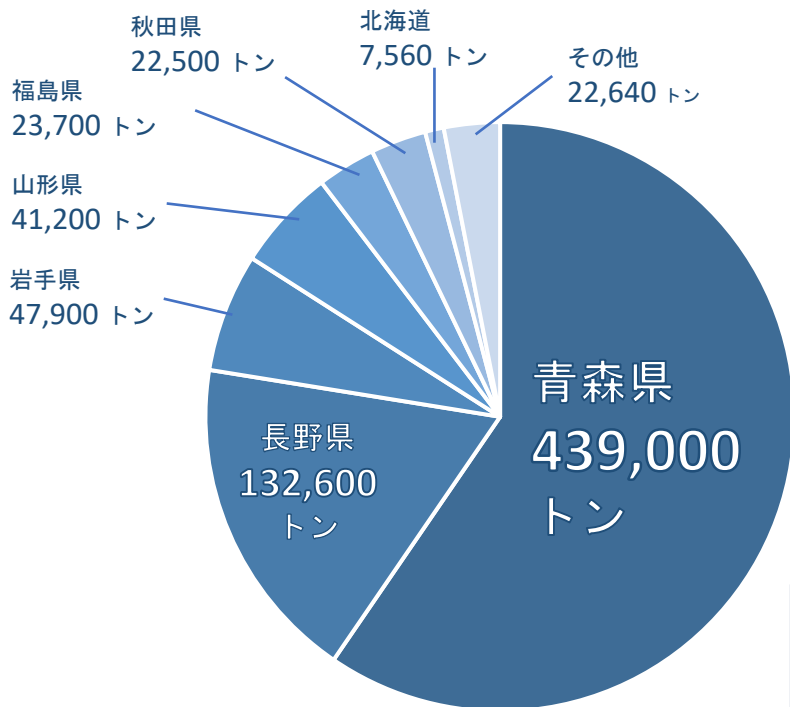
雪燈籠まつり

弘前市のりんご

生産量

令和4年産都道府県別

りんご生産量:737,100トン



約60%が
青森県産！

うち弘前市は
約18万トン！

【果実部門】農業産出額上位3市

(単位:億円)

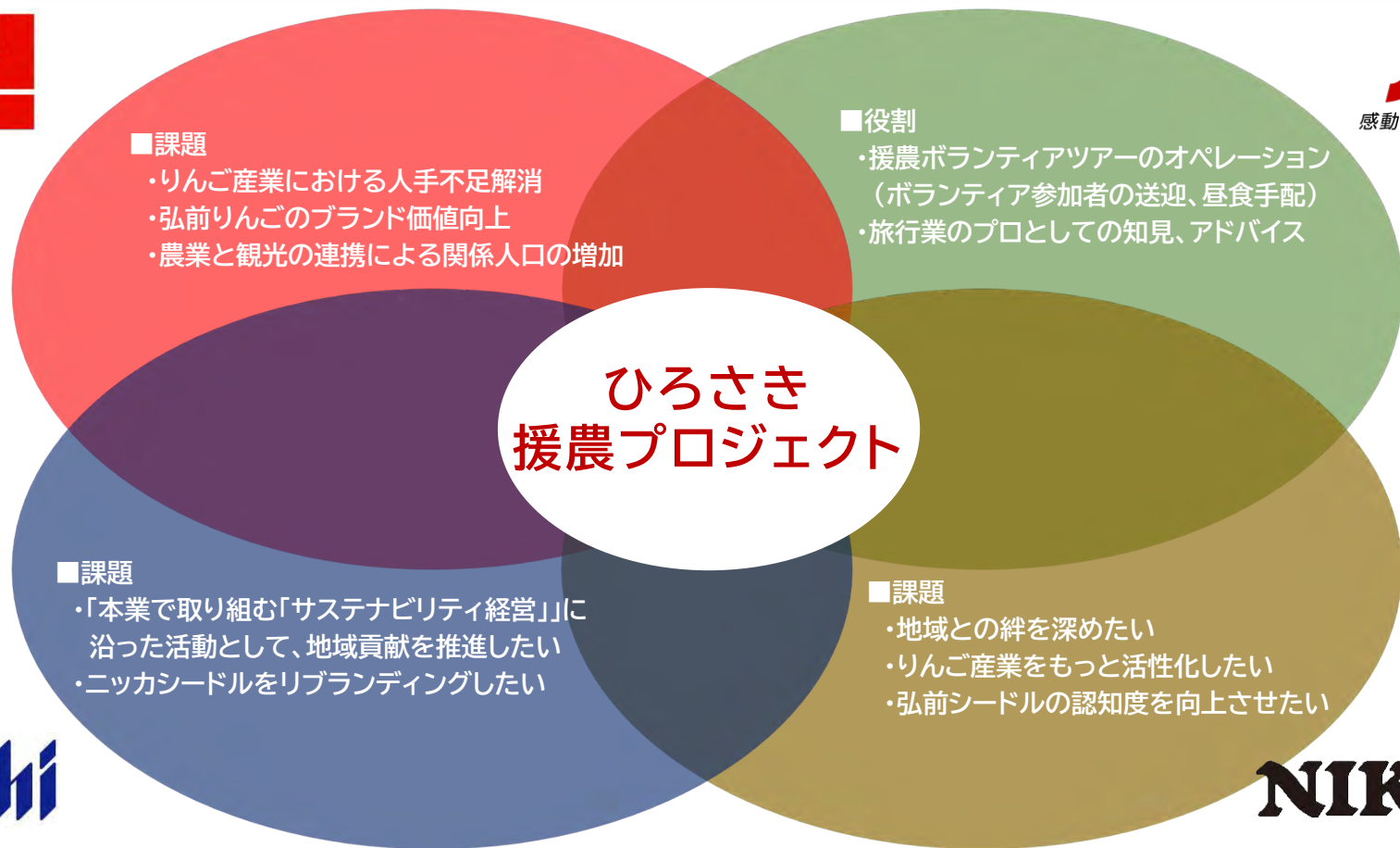
順位	市町村	農業産出額	主要果実
1(1)	弘前市(青森県)	449	りんご
2(2)	笛吹市(山梨県)	271	もも、ぶどう
3(3)	甲州市(山梨県)	185	ぶどう、もも

(注)順位の()内の数値は前年順位

資料:農林水産省「令和4年市町村別農業産出額(推計)」



令和5年度 ひろさき援農プロジェクト概要

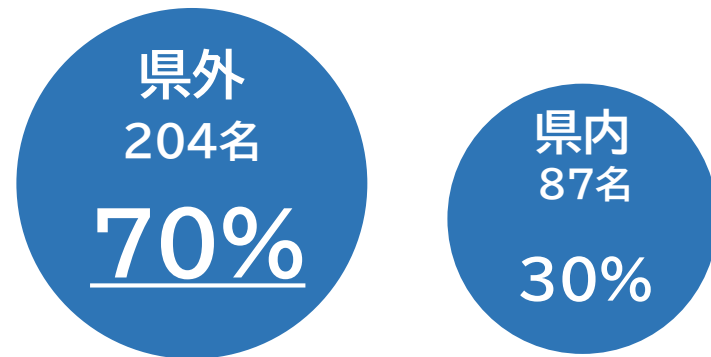


令和5年度 援農ボランティアツアー(実績)

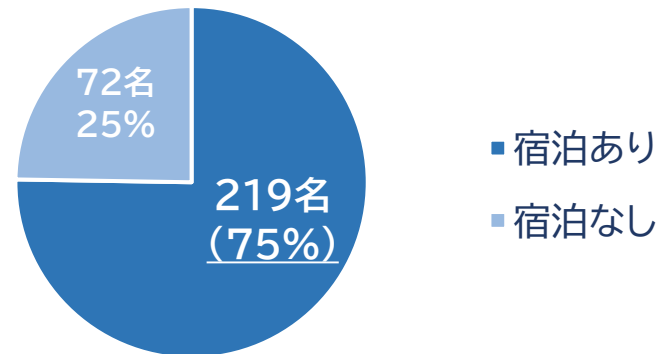
■実績

開催時期	10月～11月のうち5日間 (10/15、10/22、10/29、11/4、11/12)
主な作業	りんご収穫
作業時間	9:00～15:30
受入農家	29名
参加者	<u>282名</u>

■参加者(居住地別)



■参加者(宿泊者数)



令和5年度 援農ボランティアツアー（関係者の声）



■ 受入農家からの声

- ・ りんごの農作業は老若男女問わず、誰でも**従事できる素晴らしい仕事**だと改めて感じている。
- ・ 従事した多くの方から**楽しかった**と感想をもらい、とても**ありがたい**と感じた。
- ・ **他県、他産業**の人と関わることでいい刺激になった。
- ・ **弘前りんごをPR**できる良い事業だと思う。
- ・ 援農ボランティアを**継続してほしい**。

■ 参加者からの声

- ・ 農園の皆さんが親切で楽しく作業できた。
- ・ **ご縁を大事に**したい。
- ・ ツアーをきっかけに初めて弘前を訪れ、**観光も楽しめた**。
- ・ また参加したい、**事業を継続してほしい**。
- ・ この作業を**毎日やるのは大変**と思った。

りんご生産アルバイトの兼業の推進

■弘前市職員による兼業アルバイト

令和3年10月より市職員が兼業による「りんご生産アルバイト」を開始。

■兼業解禁の条件

対象者	全職員 (利害関係がある場合を除く)
兼業先	市内のりんご農家又は農業法人
許可要件	職務遂行上問題ないと認められる場合
許可期間	1年以内(許可後1年毎に更新)



例: 農林部職員は兼業不可



【主なもの】

従事先での勤務時間が以下をすべて満たす場合

①勤務日*3時間以下

*本業で勤務した(する)日の
兼業先での勤務時間

②週8時間以下

③1ヶ月30時間以下

※ 国家公務員における兼業に係る規定に準じて運用。

■実績(令和3年～5年)

兼業 従事者数	職員43名
派遣 農家数	33件 (各農家に職員1～4名を派遣)
作業内容	葉取り、つる回し、袋剥ぎ、反射シート敷き・撤去、収穫、運搬、選果



■受入農家の声

- ・市職員は自ら考え行動できるので、アルバイトを**安心**して受け入れることができ、助かっている。
- ・農家と市職員が一緒にりんごで**地域を盛り上げよう**という**一体感**が感じられ、**りんごアルバイトの取組**を行っていること自体が農家として**嬉しい**。

■兼業従事者の声

- ・農家が土日関係なしに朝から晩まで働いているのを目の当たりにして、簡単に疲れたと言えないと思うようになり、**精神面で我慢強くなった**と感じる。
- ・アルバイト先の農家からとても感謝され、**人のため、地域のため**になっていることを実感する。

弘前市広報誌 「広報ひろさき」 2月号特集ページ



援農ボランティアツアー

市では、農繁期に人手不足となる農業者を支援するため、アサヒビール㈱とニッカウキスキー㈱からの寄付金（企業版ふるさと納税）を財源に、官民連携で弘前市のりんご農家さんの農作業を手伝う援農ボランティアツアーを実施しています。

令和5年度に実施した、㈱JT B（ツアー催行業務を担当）を含めた4者連携の取り組みが評価され、県内で初めて2つの賞を受賞しました。



ひろさき援農プロジェクト （援農ボランティアツアー）





援農ボランティアツアー

令和5年度の実施状況

実施期間 5日間(10/15・22・29、11/4・12)

参加者 全国から282人!

受け入れ農業者 29人



弘前駅に集合するツアー参加者の皆さん



令和5・6年にボランティアの受け入れをしましたが、参加者の皆さんは、初めてのりんご作業でも慣れるのが早く、戦力になってくれました。手伝わってもらえて大変ありがたいです。

また、参加者を受け入れたことで、他県や他産業の人と関わることができたのでいい刺激になりましたし、弘前市のりんごをPR出来る良い事業だと思うので、これからも援農ボランティアを継続してほしいと思います。



りんごの風味を生かした弊社の商品には地域のりんごが不可欠です。

りんご農家さんを支援したいとの思いが今回の援農につながりました。活動を通じて社員のりんごや製品への想いも深くなりました。

昨年はソードル事業創業から70年目を迎えました。地域に根差し、次の70年、そしてそれ以降もりんごの製品を弘前の地で作り続けたいです。

